



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3726-3411  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば 「アベノミクス」** 監事 平田健二

度重なる敵失により返り咲いた自民党政権は、積年の恨みを果たすかのように、3年間の民主党の痕跡を徹底的に消そうとしている。3年間のうち約1年の災害収束期間を免責したとしても、前後の2年間で、自ら掲げたマニフェストの約束不履行のために失墜した、と言える。あえて業績を探せば「事業仕分け」と「高校授業料無償化」か？。代わって、自民党は第1次安倍内閣の積み残し策を復活させたものも多く、下記のように、懸念される事案もかかえている。

1. 集団的自衛権の行使容認に関する憲法解釈を見直し、近未来に9条を改定し、交戦権を認めようとしている
2. 国債発行枠48兆円の大幅増枠超気配、地方と合わせて1,000億円累積(限界?)
3. 「原発ゼロ」政策の再検討(廃炉から再稼働を前提に点検稼働、米国からも継続指示)
4. 東北復興資金は、5年間で19兆円を25兆円に上限見直し

このまま行くと、膨大な基金と国民皆兵制度への布石化が心配される。これら新事態を見据え、SEFも新しい事業対応策を考慮すべきではなからうか。

**01月度理事会より (第117回 01月23日)**

1. H25年度理事検討会資料の件/検討会上程を決定 2. 産業業務支援事業部収支報告/報告・了承 3. 産業・環境事業部営業会議開催報告/報告・了承 4. 源泉徴収法定調書合計表提出の件/報告・了承 5. 平成24年12月度会計収支報告/報告・了承	6. 職業大講師 報酬の件/報告・了承 7. 新事務所活用方針(暫定)/審議・決定 8. 平成25年度理事会開催日(暫定)の件/審議・決定 04/24, 05/22, 06/12(総会), 07/24, 08/夏休み、 09/25, 10/23, 11/27, 12/18, 1/22, 2/26, 3/26。
---	---

**事業報告 環境業務支援事業成行** 担当役員 佐立理事

昨年11月より当部と産業業務支援事業部と教育・研修事業部の3事業部と一緒に事業部会を開催することになった。これは各事業部員が他の事業部の活動状況を知り自分門の活動のヒントになると共に、部員が1部門だけでなく他部門にも活動範囲を広げることが出来るのではとの考えである。そこでの議論の中で部員は毎月1アクションの活動をし、報告をすることになった。活動は販売、技術支援など実際の実務もあるが、学校、展示会、異業種交流会、他のNPOなど関係する会社、団体への活動、HP・Face bookなどインターネットを使った活動もある。また事業にはすぐにはつながらないが、元の会社、同窓会などの友人、後輩に面談、メールなどでSEFのことを知ってもらおう活動もある。これらの活動から支援テーマが出てくるのではないかと期待している。

SEFに入会した時の思いを再度考えてみて、活動する場を考える良い機会になるのではと思っている。

**SEFサロン 第74回報告(1月23日実施) / 第75回案内** 担当役員 白崎理事

《第74回報告》 講師：豊沢浩一氏  
 演題：「最近の中国・台湾問題に就いて」  
 台湾に40年・中国に4年半も在住された豊沢氏から、台湾問題・中国問題の日本人にとっての重要性を、一人でも多く知ってもらいたいとの視点からの講演でした。日中関係は近代史だけで論じるのではなく、清朝時代からの日本の進出に対する悪感情を知るべきであり、日本の如くすぐに水に流せる国ではない。尖閣問題については台湾もその影響を憂慮しており、「領土問題は存在しない」と言うだけでは解決しないと話されました。出席者も多く、かつ中国経験のある方も多数おられましたので、ご講演後も熱中した議論が続きました。  
 《第75回案内》 日時：2013年3月27日(水) 18時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」  
 講師：未定 演題：未定

**01月度会員動向**

正会員入退会 ナシ 準会員入退会 ナシ	01月末現在の会員数 正会員—31名 準会員—34名 賛助会員—2社
------------------------	---